

まちづくりの目標	①	1	市民が主役となってつくる、参画と協働のまち
施策の大綱	②	3	人権の尊重
基本施策	③	2	男女共同参画

目指す姿	④	①すべての人が性別に関わりなく、ひとりの人間として尊重され、その個性や能力を発揮し、自分らしい生き方をしている。 ②男女がともに、職場や地域などにおける社会活動と、育児や介護などの家庭生活を両立し、豊かに生き生きと暮らしている。
------	---	---

名称変更

1 目指す姿の進捗度

設問①	すべての人が性別に関わりなく、ひとりの人間として尊重され、その個性や能力を発揮し、自分らしい生き方をしている。											
5	1-1 市民実感度評価					前回評		1-2 事業者実感度評価				
	回答	件数	比率	得点評価		前回得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	11	2.1%	2.7%	2.71	3.2%	3.20	そう思う	3	4.8%	6.1%	6.12
	どちらかというと思う	122	23.1%	30.0%	22.54	35.4%	26.55	どちらかというと思う	9	14.3%	18.4%	13.78
	どちらとも言えない	215	40.7%	53.0%	26.48	44.9%	22.45	どちらとも言えない	26	41.3%	53.1%	26.53
	どちらかというと思わない	39	7.4%	9.6%	2.40	8.9%	2.23	どちらかというと思わない	4	6.3%	8.2%	2.04
	そう思わない	19	3.6%	4.7%	0	7.6%	0	そう思わない	7	11.1%	14.3%	0
	わからない	98	18.6%					わからない	14	22.2%		
	無回答	24	4.5%					無回答	0	0.0%		
	総数	528	100.0%					総数	63	100.0%		
	有効回答数	406		100.0%	54.13	100.0%	54.43	有効回答数	49		100.0%	48.47
5	評価①			c		c		評価①			c	
設問②	男女がともに、職場や地域などにおける社会活動と、育児や介護などの家庭生活を両立し、豊かに生き生きと暮らしている。											
5	1-1 市民実感度評価					前回評		1-2 事業者実感度評価				
	回答	件数	比率	得点評価		前回得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	14	2.8%	3.7%	3.74	3.0%	3.00	そう思う	2	3.2%	3.9%	3.92
	どちらかというと思う	80	16.0%	21.4%	16.04	17.0%	12.75	どちらかというと思う	11	17.5%	21.6%	16.18
	どちらとも言えない	202	40.4%	54.0%	27.01	46.7%	23.35	どちらとも言えない	27	42.9%	52.9%	26.47
	どちらかというと思わない	48	9.6%	12.8%	3.21	19.8%	4.95	どちらかというと思わない	2	3.2%	3.9%	0.98
	そう思わない	30	6.0%	8.0%	0	13.5%	0	そう思わない	9	14.3%	17.6%	0
	わからない	109	21.8%					わからない	12	19.0%		
	無回答	17	3.4%					無回答	0	0.0%		
	総数	500	100.0%					総数	63	100.0%		
	有効回答数	374		100.0%	50.00	100.0%	44.05	有効回答数	51		100.0%	47.55
	評価②			c		d		評価②			c	
6	1-1 市民実感度評価			c		7 c		1-2 事業者実感度評価			c	

【評価基準】 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

2-1 客観指標評価

No.	8 指標名	9 この指標について	10 指標の動向			
1	男女共同参画プラザへの相談件数(件)	男女共同参画プラザで受ける女性の日常生活上の心配ごとや悩みごとに関する相談件数。 相談件数が増加傾向にある中、相談業務の周知や情報提供、啓発の充実を図り、女性の自立的活動を支援します。				
	11 担当課	12 指標区分	計画当初値	直近値	目指す値	
	男女共同参画プラザ	参考指標 アウトプット	H20	H24	H25	
		13 目標設定パターン	577	811	675	
		14 指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標	達成度①	16 評価	
		15 目標が未達成(c以下)の場合の理由	675	298%	a	
			655.4			
			相談件数集計	調査サイクル	毎年度	
			<外的要因の有無: □有 □無>			
2	審議会などの女性委員の割合(%)	市の附属機関等の委員総数に対する女性委員の割合。 生駒市男女共同参画行動計画に基づく目標値(平成26年度 40%)踏まえ、審議会等への女性委員の参加を促進します。				
	表示変更		計画当初値	直近値	目指す値	
	17 担当課	指標区分	H20	H24	H25	
	男女共同参画プラザ	参考指標 アウトプット	28.2	32.0	0.0	
		13 目標設定パターン	H24年度設定目標	達成度①	評価	
		14 指標の把握方法(数値の出所)	30.0	40%	c	
		15 目標が未達成(c以下)の場合の理由	37.6			
			市町村男女共同参画・女性行政推進状況調査票	調査サイクル	毎年度	
			<外的要因の有無: □有 □無> 広報紙やホームページ等で広く公募しているが、審議会の開催が平日の昼間であることが多いため、応募者の大半はリタイアされた男性高齢者という状況。積極的に女性委員の委嘱を図っているものの目標に至らず。公募方法の改善が必要。			
客観指標評価						b

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下
 [目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

2-2 代替指標

■補助指標 17

No.	指標名	この指標について	主体	進捗	H22	H23	H24	H25
1	市役所職員の女性管理職の割合(%)	市役所職員全体における女性管理職の割合	行政	目標		15	17	19
				実績		15	17	

■プロセス指標 18

No.	指標名	取組名	H23	H24	H25	19 代替指標評価
2						評価追

[評価基準] a:目標が十分に達成されている b:目標がかなり達成されている c:目標がそこそこ達成されている d:目標があまり達成されていない e:目標が達成されていない

3-1 市民の役割分担状況

20 設問	社会生活及び家庭生活において個人を尊重し、男女共同参画の意識を持っている。			
	回答	件数	比率	得点評価
	十分取り組んでいる	26	5.2%	5.52
	取り組んでいる	111	22.2%	23.6%
	少し取り組んでいる	149	29.8%	31.6%
	あまり取り組んでいない	131	26.2%	27.8%
	全く取り組んでいない	54	10.8%	11.5%
	無回答	29	5.8%	
	総数	500	100.0%	
	有効回答数	471		100.0%
	評価			c

3-3 事業者の役割分担状況

22 設問	全ての従業員に対して職業生活と家庭生活が両立できるように配慮し、就労の機会や労働条件など職場における男女共同参画を推進している。			
	回答	件数	比率	得点評価
	十分取り組んでいる	7	11.1%	12.3%
	取り組んでいる	22	34.9%	38.6%
	少し取り組んでいる	13	20.6%	22.8%
	あまり取り組んでいない	11	17.5%	19.3%
	全く取り組んでいない	4	6.3%	7.0%
	無回答	6	9.5%	
	総数	63	100.0%	
	有効回答数	57		100.0%
	評価			c

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

3-2 地域活動等の役割分担 **21**

役割項目	評価	役割分担状況
・固定的な性別役割分担意識に基づく慣習、慣行、社会制度にとらわれないようにする。 ・自治会等地域の活動において、男女共同参画を推進する。	c	自治会における女性役員の割合 13.6%(H24.4.1) 自治会における女性役員の割合は県平均値(6.0%)を大きく上回っている。 「2012いこま女と男You&Iフェスタ」参加者アンケート結果から ・「固定的な性別役割分担意識」について 同感する =男性10.3% 女性35.5% (例:家事や子育ては女性、仕事は男性) 同感しない=男性33.3% 女性15.6% 男性より女性の固定的な性別役割分担意識が強いことが伺え、意識の払拭ができない部分がまだまだある。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

3-4 行政の役割分担

(1) 市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

A 部の仕事目標設定事業

取組No. 23	取組項目	事業名	具体的内容 24	今年度末の目標水準 25	行政以外の主体の役割	評価 26	達成状況	未達成の理由 27	区分 28	担当課 29
14	男女共同参画プラザを拠点とし、講座などの男女共同参画施策を充実します。	男女共同参画の推進	相談業務の周知や情報提供等により、利用し易い相談業務の充実	周知活動の充実(相談件数H25年675件) H24年3月	(市民)相談機関の存在を認知し、知り合いなどから相談を受けた場合、専門の相談機関があることを紹介することにより、繋げていくよう協力する。	b	「相談カード」の設置を公立の幼稚園・保育園へと拡大した。 H24.3月現在657件		指標	人権施策課
		男女共同参画の推進	啓発研修の開催	市民対象研修1回 職員対象研修2回	(市民)男女共同参画の研鑽を積み、市民を対象とした講座を企画するなど、男女共同参画の啓発に主体的に協力する。	b	市民対象研修 未実施 職員対象研修 1回 職員研修メディア・リテラシー「公的刊行物における男女共同参画の視点」6月24日実施 出席者61名 出前講座等を増やしている。		その他	人権施策課
市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組状況						b				

B 経常の実施計画事業

取組No. 30	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の主体の役割 31	進捗上の課題 32	担当課
11	市民、事業者等対象者が参加しやすく、男女共同参画の意識の啓発につながるような、講演・講座を開催します。	講演会の開催	男女共同参画週間の啓発事業の一環として、男女が互いにその人権を尊重しながら、個性と能力をじゅうぶんに発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、より一層理解を深めてもらうため、「いこま女と男 You&I フェスタ」で講演会等を開催	(市民)男女共同参画を身近なものとして、関心を持つ		男女共同参画プラザ
12	広報紙や情報誌、ホームページ等、多様な媒体を通じて啓発活動を実施します。	男女共同参画情報誌の発行等	・男女共同参画施策に関する情報提供と啓発を目的に、情報誌「Vivid You&I」を年2回発行し、市内各公共施設で配布。また、ホームページでも情報提供を実施 ・男女共同参画週間期間には、広報紙、パネル展示、関連図書展示により啓発を実施 ・男女共同参画プラザ内交流スペースに、男女共同参画関連図書や刊行物をそろえ、情報提供を図る。	(市民)男女共同参画の正しい認識を持ち、身近なことから男女共同参画を考える。	・広く情報を伝えることが情報誌として役割であるが、読者拡大に苦慮する。	男女共同参画プラザ
13	男性を対象とした講座の開催、父親サークルの実施等、男性の家事や子育て、地域福祉活動への参加を支援します。	講座の開催	子どもの夏休みの機会に、父子(おやこ)の関わりを深めるため、講座を開催し、男性の家事、育児参加などワーク・ライフ・バランスの促進を図る。	(市民)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を意識し、働き方の見直しをしてみる	ワーク・ライフ・バランスの認知度は上がりつつあるが、理想と現実とのギャップがあり、推進への歩みは遅い	男女共同参画プラザ
14	男女共同参画プラザを拠点とし、講座などの男女共同参画施策を充実します。	講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、女性の社会的地位の向上と社会参画意識の高揚のため、各種講座を実施。6講座実施(H22)	(市民)日常的な身近なことに男女共同参画の視点を持つ	講座受講から行動への次のステップが繋がりにくい	男女共同参画プラザ

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

(2) 行政が主体的に実施する取組状況

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	24 今年度末の目標水準	評価	26 達成状況	27 未達成の理由	28 区分	29 担当課	
22	審議会等における女性委員の割合を調査し、結果を公表することにより、女性委員の登用を促進します。	男女共同参画の推進	市の審議会などの女性委員参加の促進	参加の促進 30.0% H24年3月	c	審議会等の女性委員参加の現状調査とアンケート実施 H24.3月末 30.6%	審議会の中には、あて職等もあり、女性委員の選出の困難な審議会もあり数値として伸びていない。	指標	人権施策課	
行政が主体的に実施する取組状況					c					

B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	32 進捗上の課題	担当課
21	男女共同参画プラザを拠点とし、相談業務等の男女共同参画施策を充実します。	一般相談、法律相談実施	・一般相談(電話・面接、火～土曜日):女性が抱えている問題や悩みについて、女性相談員が相談に応じる。(H22:716件) ・法律相談(面接、毎月第3水曜日13:00～16:00):女性弁護士による女性のための面接相談(H22:56件)	「2012いこま女と男You&Iフェスタ」参加者アンケート結果 相談機関としての認知度で、「知らない」が61.7%となっており、認知度はまだまだ低い	男女共同参画プラザ
22	審議会等における女性委員の割合を調査し、結果を公表することにより、女性委員の登用を促進します。	審議会等における女性委員の調査の実施	審議会等における女性委員の調査の実施	審議会等に市民がもっと関心をもち、男女比率の不均衡に気づくことも、数値拡大への一歩となるが、まだまだ関心が低い	男女共同参画プラザ
23	男女共同参画行動計画の進捗状況を定期的に公表し、計画の着実な推進を図ります。	実施計画の公表	実施計画に伴う事業実績の公表		人権施策課

【評価基準】 進捗状況 a: 目標を上回る達成状況 b: 達成済又は実施済み c: 取組を進めているが目標に達していない d: 事業の検討や計画を開始している e: 着手できていない

4 総合評価

		名称変更	H22	H23	H24
1 目指す姿の進捗度	市民実感度		c	c	c
	事業者実感度		-	c	c
33	1(市民)と2(客観)の評価に2ランク以上の乖離がある場合の原因分析				
2 客観指標評価	客観指標	指標追加	c	b	b
	代替指標		-	-	0
33	2(客観)と3(行政)の評価に2ランク以上の乖離がある場合の原因分析				
3 役割分担状況	市民		c	c	c
	地域活動等		c	c	c
	事業者		c	c	c
	行政				
34	支援する取組		b	b	b
	主体的な取組		b	c	c
総合評価 (主担当課の内部評価)			C	C	C
35	現状の課題と今後の取組(内部評価がD以下の場合記入)				

【評価基準】 A: 目標が十分に達成されている B: 目標がかなり達成されている C: 目標がそこそこ達成されている D: 目標があまり達成されていない E: 目標が達成されていない

5 総合計画審議会の意見

進捗状況の内部評価についての意見	36	
今後の取組についての意見	37	評価追 前年度最終評価 C
内部評価を変更した場合の理由	38	39 最終評価